

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 FDK株式会社
 コード番号 6955 URL <http://www.fdk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 望月 道正
 (氏名) 平野 芳晴

上場取引所 東
 TEL 03-3434-1271

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	39,308	12.0	1,049	—	985	—	484	—
25年3月期第2四半期	35,109	△16.1	△1,626	—	△1,723	—	△1,566	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 990百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △2,498百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.23	1.74
25年3月期第2四半期	△7.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	57,008	8,122	13.2
25年3月期	58,720	8,150	11.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,528百万円 25年3月期 6,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	8.8	2,200	—	1,900	989.2	1,000	120.6	4.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 旭化成FDKエナジーデバイス株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	217,505,884 株	25年3月期	217,505,884 株
26年3月期2Q	237,406 株	25年3月期	233,228 株
26年3月期2Q	217,270,910 株	25年3月期2Q	217,275,549 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

第一回優先株式	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年 3 月期		0 00		0 00	0 00
26年 3 月期		0 00			
26年 3 月期(予想)				0 00	0 00

第二回優先株式	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年 3 月期		0 00		0 00	0 00
26年 3 月期		0 00			
26年 3 月期(予想)				0 00	0 00

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境につきましては、現政権下における各種政策などによる経済成長への期待感から緩やかな回復基調となる一方で、新興国経済の減速や中東情勢の緊迫化、東南アジア諸国の通貨不安懸念など先行きが見通しにくい状況でした。

このような状況のなか、当社グループは本年4月にスタートした中期事業計画(2013-2015)に掲げた目標の達成に向けて、事業面においては前年度から手掛けたレアアースなどの高価なメタル材料に焦点を当てた技術V Eを製品の全材料に拡大し、購買コストダウンと併せて大幅な材料費削減を達成するとともに、外部流出費用などの固定費削減も実行することにより損益分岐点引き下げを実現しました。これにより前年第3四半期から本年第2四半期まで4四半期連続して黒字を継続することができました。

さらに財務面においては、将来コストの削減と長期に安定的な退職給付制度の運営を目的として、退職金・年金制度の改定を実施いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上状況につきましては、ニッケル水素電池の工業用途向けおよび液晶ディスプレイ用信号処理モジュールのタブレット端末用途ならびに大型液晶TV用途向けが堅調に推移したことから、前年同期に比べ41億98百万円増の393億8百万円となりました。

損益面につきましては、上記施策による原価率低減とともに、売上の増加ならびに円安効果が加わり、営業利益は前年同期に比べ26億75百万円改善し、10億49百万円となりました。経常利益は、前年同期に比べ27億9百万円改善の9億85百万円、四半期純利益は、退職金・年金制度の改定に伴う特別損失3億4百万円を計上しましたが、前年同期に比べ20億50百万円改善の4億84百万円となりました。

<ご参考>

〔半期(6ヵ月)毎の経営成績(連結)の推移〕

	売上高	原価率	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	%	百万円	百万円	百万円
平成25年3月期(上期)	35,109	89.4	1,626	1,723	1,566
平成25年3月期(下期)	38,438	84.2	1,100	1,898	2,019
平成26年3月期(上期)	39,308	83.8	1,049	985	484
前年同期比	+4,198	5.6	+2,675	+2,709	+2,050

事業別の売上概況は以下のとおりです。

電池事業

アルカリ乾電池は、市場低迷に加え、中国製品等の流入により競争激化が続くなか、新規顧客の獲得に注力するとともに、海外市場の開拓に努めた結果、前年同期を上回りました。ニッケル水素電池は、工業用途向け等が伸長し、前年同期を上回りました。リチウム電池は、国内外の防災機器・セキュリティ用途ならびに車載用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ21億81百万円増加の240億26百万円となりました。

電子事業

コイルデバイスは、山陽工場における高性能品の開発効果もありハイブリッド車向けが堅調に推移したものの、民生用電子機器向けが落ち込んだことにより、前年同期を下回りました。DC-DCコンバータは、サーバ・ストレージ向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。積層チップパワーインダクタおよび高周波積層部品は、スマートフォン向けが好調に推移し、前年同期を上回りました。液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、タブレット端末用ならびに中国市場での大型液晶TV用が好調に推移し、前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ20億17百万円増加の152億81百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ17億12百万円(2.9%)減の570億8百万円となりました。流動資産は前連結会計年度に比べ、12億55百万円(3.6%)減の335億6百万円、固定資産は前連結会計年度に比べ4億57百万円(1.9%)減の235億2百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が3億58百万円、受取手形及び売掛金が2億80百万円、仕掛品が2億36百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、旭化成FDKエナジーデバイス株式会社の連結除外などにより投資有価証券が16億69百万円増加しましたが、有形固定資産が26億22百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ16億84百万円(3.3%)減の488億85百万円となりました。流動負債は前連結会計年度に比べ10億8百万円(2.4%)減の404億5百万円、固定負債は前連結会計年度に比べ6億76百万円(7.4%)減の84億80百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、未払金が11億18百万円増加しましたが、短期借入金15億83百万円、支払手形及び買掛金が6億5百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、負ののれんが3億79百万円減少したことによるものです。

なお、有利子負債残高は、前連結会計年度に比べ14億64百万円減の212億70百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ28百万円(0.3%)減の81億22百万円となりました。純資産減少の主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が4億84百万円、為替換算調整勘定が5億16百万円それぞれ増加しましたが、旭化成FDKエナジーデバイス株式会社の連結除外などにより少数株主持分が10億34百万円減少したことによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少などによる現金及び現金同等物(以下「資金」という)の減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上や減価償却費、売上債権の減少、未払費用の増加などによる資金の増加により35億93百万円の資金増加(前第2四半期連結累計期間は4億61百万円の資金減少)となりました。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や関係会社株式の取得による支出などにより19億81百万円の資金減少(前第2四半期連結累計期間は3億51百万円の資金減少)となりました。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少などにより16億4百万円の資金減少(前第2四半期連結累計期間は7億56百万円の資金増加)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の資金残高は期首残高より3億48百万円減少し、49億49百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想は、平成25年4月26日発表の公表値を据え置いております。

なお、今後、市場の動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社と旭化成株式会社との合併会社である旭化成 F D K エナジーデバイス株式会社は平成25年4月30日に実施した増資により、持株比率が当社50%、旭化成株式会社50%に変更となりました。これにより第1四半期連結会計期間より、旭化成 F D K エナジーデバイス株式会社は、当社の連結子会社から持分法適用関連会社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

退職給付制度の改定

当社および一部の連結子会社は、平成25年10月1日付で退職給付制度の改定を行ない、確定給付型の企業年金基金制度および退職一時金制度から、確定給付型の規約型企業年金制度および退職一時金制度ならびに確定拠出年金制度に移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。なお、併せて退職金制度を各社毎の給与累計方式およびポイント制方式から統一されたポイント制方式に改定しております。

本移行に伴う影響額は、当第2四半期連結累計期間の特別損失に退職給付制度改定損として304百万円計上されております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,307	4,949
受取手形及び売掛金	20,704	20,423
商品及び製品	2,386	2,448
仕掛品	2,937	2,701
原材料及び貯蔵品	1,677	1,620
繰延税金資産	132	193
その他	1,669	1,230
貸倒引当金	55	61
流動資産合計	34,761	33,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,038	7,621
機械装置及び運搬具(純額)	6,550	5,408
工具、器具及び備品(純額)	884	730
土地	3,437	3,411
リース資産(純額)	1,238	1,315
建設仮勘定	1,226	268
有形固定資産合計	21,376	18,754
無形固定資産	778	736
投資その他の資産		
投資有価証券	161	1,830
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	218	240
その他	1,422	1,938
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	1,804	4,010
固定資産合計	23,959	23,502
資産合計	58,720	57,008

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,565	14,959
短期借入金	21,279	19,696
リース債務	363	481
未払金	1,254	2,373
未払法人税等	243	249
災害損失引当金	137	-
その他	2,569	2,645
流動負債合計	41,414	40,405
固定負債		
リース債務	1,091	1,093
繰延税金負債	3	200
退職給付引当金	6,313	1,635
負ののれん	1,328	948
その他	419	4,602
固定負債合計	9,156	8,480
負債合計	50,570	48,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,301	28,301
資本剰余金	22,622	22,622
利益剰余金	43,767	43,283
自己株式	42	42
株主資本合計	7,114	7,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	23
為替換算調整勘定	609	93
その他の包括利益累計額合計	591	69
少数株主持分	1,628	593
純資産合計	8,150	8,122
負債純資産合計	58,720	57,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間
 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	35,109	39,308
売上原価	31,384	32,947
売上総利益	3,725	6,360
販売費及び一般管理費	5,352	5,311
営業利益又は営業損失()	1,626	1,049
営業外収益		
受取利息	7	9
負ののれん償却額	379	379
受取賃貸料	10	99
その他	55	156
営業外収益合計	453	645
営業外費用		
支払利息	83	76
為替差損	314	124
持分法による投資損失	33	385
固定資産除却損	51	19
その他	67	102
営業外費用合計	550	709
経常利益又は経常損失()	1,723	985
特別利益		
補助金収入	-	83
特別利益合計	-	83
特別損失		
退職給付制度改定損	-	304
和解金	239	-
特別損失合計	239	304
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	1,963	763
法人税、住民税及び事業税	79	196
法人税等調整額	99	95
法人税等合計	19	292
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	1,943	471
少数株主損失()	376	13
四半期純利益又は四半期純損失()	1,566	484

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	1,943	471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	5
為替換算調整勘定	495	450
持分法適用会社に対する持分相当額	58	62
その他の包括利益合計	554	519
四半期包括利益	2,498	990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,117	1,006
少数株主に係る四半期包括利益	380	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	1,963	763
減価償却費	1,460	1,369
退職給付引当金の増減額(は減少)	258	8
貸倒引当金の増減額(は減少)	5	2
受取利息及び受取配当金	8	10
支払利息	83	76
為替差損益(は益)	4	5
持分法による投資損益(は益)	33	385
有形固定資産売却損益(は益)	1	0
固定資産除却損	51	19
負ののれん償却額	379	379
補助金収入	-	83
和解金	239	-
売上債権の増減額(は増加)	636	894
たな卸資産の増減額(は増加)	164	255
仕入債務の増減額(は減少)	874	1,213
未払費用の増減額(は減少)	591	589
その他	40	1,192
小計	267	3,866
利息及び配当金の受取額	8	10
補助金の受取額	-	83
利息の支払額	82	77
法人税等の支払額	120	289
営業活動によるキャッシュ・フロー	461	3,593
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	6	0
定期預金の払戻による収入	300	10
有形固定資産の取得による支出	1,279	1,236
有形固定資産の売却による収入	672	172
無形固定資産の取得による支出	46	33
投資有価証券の取得による支出	1	1
関係会社株式の取得による支出	-	888
その他	9	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	351	1,981

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	874	1,385
自己株式の取得による支出	0	0
少数株主からの払込みによる収入	-	6
ファイナンス・リース債務の返済による支出	117	225
財務活動によるキャッシュ・フロー	756	1,604
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	211	176
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	532
現金及び現金同等物の期首残高	5,875	5,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,607	4,949

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	21,845	13,263	35,109		35,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	21,845	13,263	35,109		35,109
セグメント利益又は損失()	1,857	231	1,626		1,626

(注) セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	24,026	15,281	39,308		39,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	24,026	15,281	39,308		39,308
セグメント利益	520	528	1,049		1,049

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。